

ふれあって **絆** ほほえんで

きずな



題字：北九州市立いのちのたび博物館長 小野 勇一

絵：平成16年度ペットスケッチコンクール福岡県知事賞 飯塚市立伊岐須小学校6年生 山本 凧彩

# 子犬の地域譲渡会

～動物管理センターの試み～

アイフルより  
可愛いし..

各地の保健福祉環境事務所で行われている「子犬の地域譲渡会」で譲渡される子犬たちは、処分される為に一度は動物管理センターの門をくぐった子犬たちです。

古賀市の(財)福岡県動物管理センターの獣医師・小山先生は職員さんたちと共に、子犬におすわりレッスン等、簡単なしつけをして(嫁入り道具と称して)新しい飼い主さんたちに渡しています。

「雑種だからバカだ」とセンターの門を再びくぐることがない様、新しい家庭でうんと大事にされるよう、日曜日職員さん交代で育てています。職員さん全員が、優しい育て方に深い理解を示してくださり、人間を恐がることのないよう対応してくださっています。

子犬が自発的にすわったら良いことがあるから、子犬は長靴と白衣が大好き(左下写真)。成長してセンターに、その姿をお披露目に来るときも、犬はこの時と変わらぬおすわりをするそう!!!

今回は小山先生に、その思いを書き綴っていただきました。



先生好き



## センター便り

最近、動物管理センターの番組がテレビでよく取り上げられていますが、そこで目にする動物たちの映像はいつも悲惨です。胸が痛くならない人はまずいないでしょう。

しかし、人の思いはどうあれ飼育放棄された動物は毎日のようにセンターに運ばれてきます。「かわいそうだから、誰でもいいから、動物を飼って」というのは簡単ですが、「かわいそう」という思いだけで動物の終生飼育はできません。「誰でもいいから」というのは、無責任極まりない考え方です。非情といわれても、無責任の連鎖はどこかで断ち切らなければどこまでも続いていきます。動物の処分も、動物の譲渡も責任を持って行う。それが動物管理センターの使命であると考えています。

憂うべき現状の源泉はどこにあるのでしょうか。原因がわかれば、解決策も見えてくるものです。結果にあたふた慌てて小手先で対応するのではなく、問題を生み出す前、問題が大きくなる前の段階にフォーカスをあて、さらなる戦略を持った動物愛護事業の展開が必要であると考えます。現在の動物管理センターは動物たちにとって「最後の場所」でしかありませんが、社会復帰する動物、動物の飼育を始める人、動物の情報を求める人、動物とのかかわり方を学ぶ子どもたちにとっての「最初の場所=プライマリーケアセンター」に転換させる取り組みも開始しなければなりません。

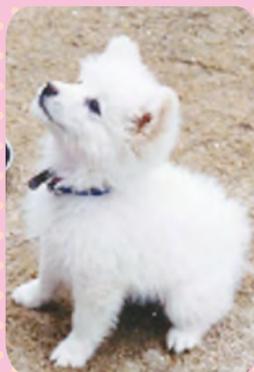
現在も将来も、動物管理センターには多くの資源が必要です。お金はどこを振っても出てきそうにないご時世ですが、情熱や善意は人の心に無限に蓄えられているものです。今、センターには共通の目標に向かって行動する人たちが集まってきています。そして、情熱の種は、知恵と情報を出し合い、スキルを磨き合う小さな芽に成長しています。

動物の譲渡それに続く飼育は、ひとつの命をつないでいくリレーです。そのリレーを支えるため、今後はさらに高い専門性を備えた人材が必要になってきます。「人育て」は、テレビの映像からは見えてこない動物管理センターの新たな、もうひとつの使命です。

(財)福岡県動物管理センター 獣医師 小山

●地域譲渡会: いっしょに育てた職員さんと、育て方の説明に行きます。

今年度は、102匹のお友達が  
新しいおうちにもらわれたよ!



H16年度(2月末現在)に不要として福岡県の動物管理センターに持ち込まれた犬の数5503匹の内、子犬が2178匹でした。これはほとんどが普通の犬好きの人から出された犬たちです。決して可愛いとか可哀想という理由だけで、子犬を求めないでください。その願いを込めて、子犬の譲渡を希望する方には「事前講習会」を受講されることを義務づけております。よろしくご理解ください。

## 鞍手保健福祉環境事務所より

事前講習会でも譲渡会でも、犬のお勉強をしていただきます。家族連れで講習を受けています。「これからうちのコになる犬がこんなにおりこう!!」皆さん熱心です。



## 久留米保健福祉環境事務所



事前講習会では「あなたは本当に犬を飼えますか」「子犬を迎える前に」や「病気」に関しての講習をしました。不妊去勢の必要性や病気の説明に大きくうなづいている姿が目にはやきついています。不妊去勢については、可哀想だからと思っていた方が、「話を聞く事でたくさんの病気を防げる事に改めて考えさせられました」「今日は良い話を聞かせて頂いて本当にありがとうございました」などの感想を聞くことができました。

この気持ちをいつまでも大切にしてほしいと思います。犬も成長します。飼い主も成長してほしいと心から願っています。

第10回どうぶつ「YOU・友」フェスティバルでは、新しい飼い主さんに「犬のしつけ」や「犬の終生飼養」についての講習会をさせていただきました。

講習会をする前に、犬達をいれたゲージを並べ、犬を選んで頂くのですが、1匹1匹並べる度に大勢の人集りができ、子犬たちは脅え、しっぽを巻き込んでいました。

生後3ヶ月未満の子犬たちばかり並ぶのです。どの犬も可愛いのは当たり前です。

中には、大きくなる犬もいます。テリア系の頑固な性質の犬もいます。

この犬達を家族として迎え入れ、この犬の一生の責任を負うのです。自分の環境、生活パターンにあった犬を探してほしいと思います。好きな犬を選ぶのではなく、飼える犬を選ぶ事が一番大切な事です。犬を選んだ方は講習会に参加してもらいますが、「子供の時から犬を飼っているから、講習会を聞く必要がない」「犬のことはあんた達より詳しい」等言う方もいます。その方に犬の寿命を聞くと「7~8年」と答える。こんな方に、犬を理解して頂き、飼い主と犬の信頼関係を築く為の手助けをしていきたいと思っています。

動物愛護推進員 久留米支部 待鳥 真佐美

### 譲渡会のご案内

- (財)福岡県動物管理センター 子犬の譲渡会 毎月第2水曜日
  - \*5月の譲渡会のみ第3土曜日(事前講習会は第2土曜日)
  - \*前週第1水曜日の事前講習会を受講した人に限る
  - \*要予約 (財)福岡県動物管理センター Tel.092-944-1281

- 地域譲渡会 開催予定日 (各)保健福祉環境事務所
 

(宗像)	6月22日	(朝倉)	7月27日	(嘉穂)	8月24日
(糸島)	9月28日	(山門)	10月26日	(田川)	11月24日

  - \*あくまでも予定です。また、事前講習会が必須となりますので、必ず各保健福祉環境事務所か動物管理センターへお問い合わせください。(しつけ教室も行っております。お問い合わせ下さい)

# 愛護教室

## 桜原小学校 粕屋支部

H16年7月、宇美町立桜原小学校1年生3クラスにおいて「ウサギさんと仲よくなろう」と題し、生活科の授業をお手伝いさせていただきました。担任の先生との目標として、ウサギさんのことを知ってウサギさんにも私達と同じ命があることを知ってもらい、今後の授業に役立ててもらえればと計画しました。

この小学校では、毎年1年生がウサギさんのお世話をまかせられ、土日の休日や長い夏休みなどは、当番表に従い休日も親子一緒に登校し、お世話をする事になっています。1年生にはまだ弱い生き物の眼に自分達がどう映るのかと考えるのは難しいかもしれませんが、言葉と話さない生き物の世話をすることは自分達がどう存在なのかと考えて欲しいと思います。世話がめんどくさい・きたくないと思うのではなく、自分自身と向き合い、「大切な1つの命」を感じ取ることができるよう手助けしたいと、3年前から始めています。

さっそくウサギさんについて、子供達からの質問攻めに、佐藤獣医師が一つずつ丁寧に答えていきます。耳、目、体のつくりや特徴についての話や、何故ピョンピョン跳ぶのか?何故噛み付くのか?などにも答えていきます。子供らしくてつい笑ってしまいたくなるような質問や、真剣にウサギさんのことを考えている様子を感じられ、私達の姿勢が問われる様な場面もありました。

ウサギさんふれあいタイムでは、よく観る、触る、だっこするという展開で、いろいろな葉っぱをあげて喜んでるか?、なでたら怖がっていないか?、抱いたら暴れていないか?などと、相手の気持ちを考えながら接する時間としていきました。

はじめは、以前噛み付かれた経験から、嫌な思いをしていた子供や、小動物と全くふれあう経験がなく育った子供達は、触ることも怖がっていましたが、私達が一緒に手を取りひざの上に優しく抱かれおとなしいウサギさんを見て、「私もだっこできるようになりたい!」「ほくにもだっこさせて!」と熱い視線で訴えることもたちが群がり「あったかーい!」「ふわふわしてる!」「ドキドキしてる!」「かわーい!」と頬ずりしている姿に、どうかこれからもこの子達がたくさんの「命の実体験」ができる環境で生活してもらいたいと願うばかりでした。今はコンピューターなどで疑似体験が簡単にできる時代です。だからこそ、豊かな心を育む気づきのある交流が必要な時代だと思えます。

動物愛護推進員 粕屋支部 紀平弘美

## 田主丸小学校 久留米支部



推進員さんが心臓の音を聞かせています。

H16年11月、田主丸町立田主丸小学校の1年生79名を対象に愛護教室をしました。

この小学校のうさぎはみんなを怖がって穴の中に逃げ込みとても教室で使えないので、(財)久留米市鳥類センターのうさぎを借りて、正しい飼い方などを講習しました。うさぎを抱いたり、心音を聞いたりすることで、「ふわふわして気持ちよかった」「自分と同じように心臓の音が聞こえた」等の感想も聞かれ、命あるものに優しく接することを学んでもらえたと思えます。

今後、この学校のうさぎをみんなで抱けるように、推進員と共同し、フォローアップしていきます。



代表の生徒にお手本としてうさぎの正しい抱き方を練習してもらいました。上手に抱けてうれしそう!!自分の学校のうさぎが抱けるといいですね。感想文には「僕も私も抱きたかった」と、残念そうでした。

## 夏休み親子動物愛護教室 鞍手支部



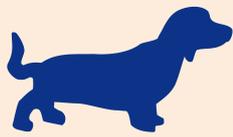
### 即席獣医さんのできあがり

「悪いところはありませんか?」  
いじめてるんじゃないのよ。このワンはお腹をさわられるのが大好き!!愛護教室むきのワンです。

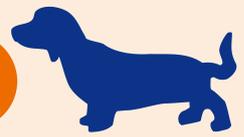
### 「さわって、いいですか?」

必ず飼い主さんに、聞こうね!  
大人でもできないことです。活発なわんちゃんも、わがりなワンちゃんもいます。マナーは犬と子供と自分自身を守ります。推進員さんも実行してそして、いろんな人に広めたらどうでしょう!!





# 犬のしつけ方教室



## 小郡のしつけ教室

久留米支部

「犬のしつけ」とは、犬の問題を取り除くのではなく飼い主の問題を正す事がほとんどです。

まず飼い主に「犬を理解」して頂く必要があります。

最近、飼い主の間違ったしつけ方によって、過剰な行動を引き起こす犬達があります。

飼い主の横で歩く度、飼い主の手が動く度、大きな声をだす度にビクつき逃げる犬、牙をむく犬、この行動の後には、「たたかれる」とインプットされているのです。出来なければ「たたく」そして「バカ犬」と判断する。これらは飼い主の知識不足によって引き起こされる現象です。

そこで、「した事を怒る」のではなく「やめた事をほめる」しつけに変えてほしいとお願いしました。

このしつけ教室の後も、数名の方から連絡があり、個人的な指導も行っています。動物愛護推進員久留米支部 待鳥 真佐美



## 豊前市のしつけ教室

京築支部

豊前市主催健康・福祉・環境フェア内の1 イベントとして、10月 17 日に豊前市総合福祉センターで犬のしつけ方教室を開催しました。事前の申し込み人数は20名未満でしたが、当日、フェアを見学に来た人達の飛び込み参加もあり、全体で50名 の受講者となりました。

受講者は皆熱心に講義に聴き入り、また、モデル犬の演技に感心し、時折笑い声も漏れる楽しい教室となりました。

この地域で犬のしつけ教室が開催されるのは初めてのことで、参加者からはいろいろな質問が飛び出しました。一部の参加者からは、「犬は番犬として飼いたい」また、「しつけは厳しくなければ犬は言うことをきかない」といった意見も出ましたが、今回の教室で学んだことを実践し、愛犬とよりよい関係を作っていただけけたらと思います。

この教室に、愛犬のゴールデンレトリバーを連れて参加しました。「犬は番犬として飼いたい」「厳しくなければ言うことをきかない」という意見をじかに飼い主さんから聞いて、地方に行った意味があったように思います。

私達は、飼い主が何を求めているかではなく、飼い主の意識を啓発したくてボランティアをやっています。今の動物の処分の実態から、飼い主の知識がいかにあやふやかを知っています。「番犬」も、「厳しさ」も、手を抜いて犬を育てたいという本音から派生しているとしたら、やがて処分への道へつながるでしょう。

犬種に関係なく、知育はできます。犬の脳を犬にわかりやすい方法で育てます。それは、大変忍耐のいる・頭を使う・手のかかる作業です。けれど、楽しく実行でき、将来必ず愛犬との深い絆ができることをお約束しましょう。動物愛護推進員宗像支部 福島みゆき

## ホテルでの犬のしつけ方教室

朝倉支部

2004年5月 24 日(月)、原鶴温泉観光ホテルパーレンス小野屋の庭園にて犬のしつけ方教室を開催しました。今回ホテル側のご理解、協力の元、雨天時用に室内広間も準備していただきましたが、晴天に恵まれて無事、開催できました。

参加者数は原鶴温泉旅館業関係者も含めて61名、推進員も5名参加し受付等に協力いただきました。

講師は、当朝倉支部の推進員でもある田辺久人氏ですが、しつけられた犬を伴っての講習でした。

なお「しつけの確認」も様々な方法があると思いますが、同氏が推し進めているNPO法人OPDES（犬の総合社会化推進機構）のチームテスト（犬の社会化認定試験）は、「飼い主と愛犬がペアを組んで」受験するテストです。愛犬と一緒に一歩外に出れば、人や他の犬・動物・車・騒音など、犬の気を引く様々な誘惑があります。その中で、マナーよく快適に愛犬と行動するためには、愛犬の気持ちを飼い主の方に集中させ、飼い主は愛犬をしっかりコントロールして導くことが大切ですが、そのためのカリキュラムをこのチームテストは組んでいるとの事です。

また、昨年11月（ワンワンの語呂合わせ?）は「ドッグマンス2004 インふくおか」が開催されたことをご存知でしょうか。これは2年目の取り組みとなりますが、人と動物との共生をテーマに福岡県内で様々なキャンペーン・イベントが行われています。（詳しくはドッグマンス実行委員会 URL :[www.tails-by-side.com/dogmonth.html](http://www.tails-by-side.com/dogmonth.html) まで）

当支部内でもドッグスポーツ、アジリティー競技会等が原鶴温泉の多目的グラウンドにて開催されました。また関連して当支部推進員の熱心な働きかけにより、原鶴温泉にて「しつけられた犬」の同伴宿泊を受け入れる宿が、昨年12月 から11軒 に増えています。

2003年10月 に施行された「身体障害者補助犬法」に基づき、補助犬（盲導犬・聴導犬・介助犬）の公共の施設、交通機関、一般の施設（デパート・ホテル・飲食店等）への同伴が認められています。同様に「よく管理された愛犬」との同伴宿泊が旅館・ホテル側、利用者側双方の理解の元に、より普及することを望みます。



# H16年度 各支部 年間活動報告

## 遠賀支部

6月	犬のしつけ方教室(4回 シリーズ30名定員)	遠賀町ふれあいの里センター
10月	動物愛護教室	岡垣町立戸切小学校
11月	動物愛護教室	中間市立中間小学校
12月	動物愛護教室	岡垣町立吉木小学校
3月	遠賀支部会議開催	

## 久留米支部

5月	第1回動物愛護推進員久留米支部会議	
6月	動物ふれあい活動推進事業	(財)久留米市鳥類センター
7月	動物ふれあい活動推進事業第2回会議	(財)久留米市鳥類センター
8月	「これから犬を飼う人のための講習会」 「子犬の譲渡会」	久留米保健福祉環境事務所 福岡県動物管理センター
9月	第10回 どうぶつ「YOU・友」フェスティバル 動物愛護推進員久留米支部街頭キャンペーン	どうぶつ「YOU・友」事業推進実行委員会: 他多数
10月	小郡市第1回犬のしつけ教室	小郡市
11月	小郡市第2回犬のしつけ教室:動物愛護教室 :久留米市犬のしつけ教室	小郡市・田主丸町立田主丸小学校: どうぶつ「YOU・友」事業推進実行委員会
2月	第3回動物愛護推進員久留米支部会議	
3月	犬のしつけ教室(久留米): 平成16年度動物愛護推進協議会久留米支部会	どうぶつ「YOU・友」事業推進実行委員会

## 鞍手支部

4月	啓発事業(トヨタスプリングフェスタ)	
6月	動物愛護研修会(ASAP動物病院 スタッフ)	
7月	夏休み親子動物愛護教室	
8月	動物と仲良く暮らすための講習会	
9月	「これから犬を飼う人のための講習会」 「子犬の譲渡会」:啓発事業(鞍手町)	
10月	犬の飼い方教室	直方市総合庁舎
11月	犬の飼い方教室:啓発事業	鞍手町中央公民館:小竹町
2月	犬の飼い方教室(講師:土生亜紀子氏)	宮田町地域交流センター

## 京築支部

6月	「これから犬を飼う人のための講習会」 「子犬の譲渡会」	遠賀町ふれあいの里センター
10月	犬のしつけ方教室	

## 粕屋支部

4月	推進員会議	
6月	ふれあい教室	宇美町立桜原小学校
7月	動物愛護教室:「これから犬を飼う人のための講習会」 「子犬の譲渡会」:推進員会議:市町担当者勉強会	動物愛護教室(宇美町立桜原小学校・3回)
11月	犬のしつけ方教室	古賀市(まつり古賀)
1月	犬のしつけ方教室(講師:土生亜紀子氏)	古賀市
2月	動物愛護講演会(講師:名越譲治氏)	
3月	支部総会	

## 朝倉支部

5月	犬のしつけ方教室	原鶴温泉観光ホテル・パーレンス小野屋
6月	犬のしつけ方教室	甘木市・ピーポート甘木
8月	「これから犬を飼う人のための講習会」 「子犬の譲渡会」	久留米市主催
10月	動物愛護教室	杷木町立杷木小学校
3月	動物愛護推進員会議	

\*「活動報告」の提出のあった支部だけを掲載してみました。多くの支部でご活動をされていることと思います。掲載されなかったところは、ご容赦ください。また、来年の報告も多数お寄せいただき、推進員ニュースを応援していただくことを期待しております。(推進員ニュース編集部一同)

# 第0回 どうぶつ「YOU・友」フェスティバル

久留米支部

動物愛護週間に際し、動物愛護思想の普及・啓発を目的として「動物は、人の大切なパートナー」をスローガンに、毎年、久留米市を中心に行われている事業です。

近年のペットブームに伴う犬の放し飼い等、動物に関する様々な社会問題を少しでも解決するために、ペットの飼い方についての関心と理解を深め、飼い主のマナーの向上と、動物と共存する近隣社会の構築をめざします。また、動物とのふれあいを通じ、心に安らぎを与えると共に動物についての理解を深めることで、子供の心身の健全な発育を願う趣旨で実施されています。

この事業は行政、獣医師会、衛生連合会、動物福祉協会、鳥類センター等の団体が構成され動物愛護推進員も発足当初から参加協力をしています。推進員は主に「子犬・子猫の飼い主探しコーナー」を担当します。

譲渡する人、もらう人に対する講習会、その子犬・子猫の世話、新しい飼い主への引渡し、適性飼養の指導などを行います。

譲渡する人に対しては、不妊・去勢に関する理解等を求める内容で、もらう人は適性飼養・病気などの内容を中心に講習を行いました。(P3 に推進員さんの文章があります)



活発に様々な活動を展開されている、久留米支部では、動物愛護週間の事業として、推進員による街頭キャンペーンを実施されました。その際、手作りのTシャツを作成され、キャンペーンには、全員これを着て行われたとのこと。推進員さんお役所の方、気持ちが一つになって楽しそう!!他の、支部の方もちょっと考えてみては?気持ちが高まり活動が楽しくなるかも!

久留米支部より

推進員制度の県民への周知と共に、望まない繁殖防止、動物の愛護と適性飼養について関心と理解を深めてもらう為にそれぞれのパンフレットを配布しました。以外と関心が高く、あつという間に配布でき、自分の飼っている犬について質問してくる人も現れました。今後も意欲的に啓発活動に取り組みたいと思います。

# 第0回 動物ふれあい広場

宗像支部

この広場は、動物とのふれあいを通じてその習性を理解すると共に、生命を尊重する心を育み、人と動物が共生できる心豊かな社会作りを進めるため毎年開催されています。

今年は、第10回記念大会 ということで、宗像地区の獣医師さんやお役所の方・動物愛護推進員さんの並々ならぬご協力のおかげで、例年にもまして盛大に実施することができました。

推進員の方々には、「子犬のしつけ教室」、「小動物とのふれあい」、「体験乗馬」、「広場の歴史ビデオ」等を担当していただき、いずれも特に大好評でした。

また「動物の着ぐるみ」を着て、汗だくになりながら子供達とスナップ写真に収まっていた方々、本当にお疲れ様でした。今後もこれらのイベントを通じて、地域における動物愛護精神の普及啓発活動に取り組んでいきたいと思ひます。



# おいで を教えよう!

## 犬のしつけ **ワン** ポイント



おすわりよりも  
ふせよりも  
「おいで」が出来たら  
犬は可愛い!!



「おいで」は  
めちゃんこ楽しい  
ことのはずっ!!!

①飼い主の目を見て  
良いことがあると  
わかるようになったら...



②そのまま後ろに下がりながら、  
ついてきたら「おいで」と言う

- 1歩でもついてきたら、ほめる。2歩3歩とのぼしていく、いきなり長距離にして欲張らない、失敗させない。  
\*それができるようになったら...\*
- 遊んでいる犬のそばまで行って、一歩のおいでから始める。来たら、褒めて、もう一度自由にする。何度でもやる。  
「来たら、つながれるのでなく、何度でも遊びにいける」ことを教える。  
\*やってはいけないこと\*
- 犬が来たのにしかる。「おいで」で呼んで、動物病院に行く、シャンプーをする等、犬が嫌いなことをする。

### 緊急事態発生

#### ～福岡県西方沖地震～

2005年3月 20日 マグニチュード7.0 という、思いもよらない大地震が起こりました。今後も大きな余震や、別の場所での地震が発生するかもしれません。

- ①マイクロチップや名札をつける
- ②クレートトレーニング(ハウストレーニング)や、最低限のしつけ
- ③動物用の非常用品の準備

この3つの提案を、地震に限らず「もしも…」の時のために考えてみませんか?この他にも、災害の備えについて、下記アドレスのホームページに載せてます。みなさまと、みなさまの動物の安全な明日のために、ぜひ御覧ください。

推進員Z

∞行動は心の表現の一つ。行動を研究すれば、動物の心理状況もわかる?で、「行動学」があります。そして、人間の「心理学」へと役立てられます。が、言葉を使いこなす人間でさえ人の心の奥底はわかりません。ましてや、ものを言えない動物は...まだまだ遠く険しい道です。ですが楽しい道ですね。

推進員M

∞阪神淡路大震災から10年...そして昨年は新潟中越地震や異常気象による猛暑や台風による水害など...これらの自然災害は、決して人事ではないと危惧していた時に、今回の福岡県西方沖地震は起こりました。もしも...の時に、自分の愛するペットを、そして地域のペット達を守ってあげられる推進員でもありたいと思います。

推進員N

∞早いもので第3号です。沢山の事を学んだ3年間でした。でもまだまだこれから!生涯勉強です。そう!!人間と動物が共に幸せに暮らせるために、まだまだやれることがあるはずですよ。どんな小さなことでも続けていけばきっと大きな結果に繋がるはずですよ。『継続は力なり』です。いつも頼ってお任せしてばかりですがよろしくお願ひします。

### 編集後記

### ヨーロッパ視察ご報告



(社)福岡県獣医師会会長および(社)福岡県動物福祉協会の理事長である蔵内勇夫氏と福祉協会理事兒島廣事氏2名は2004年8月 25日～9月3日迄ヨーロッパへ視察に行きました。

日本も先進国の活動等を勉強して少しずつでも取り入れていけるよう努力していくことを、あらためて感じた視察でした。(写真:市内各所に置いてある「犬のふん用袋」を手にする蔵内会長:ジュネーブ)

福岡県動物愛護推進協議会HPアドレス : <http://www.fukuoka-douai.jp/index.htm>